

つばさ

～男女が支えあい、いきいきと暮らせるまちをめざして～

【内容】

- ◇劣等生の私が銀行の支店長に（取材）
- ◇平成29年度津市男女共同参画フォーラムを開催しました！
- ◇クロスワード
- ◇津市ヘルスマイトおすすめレシピ

情報紙『つばさ』…「誰もが自由な心で生きられる社会を思い、男女共同参画社会の実現に向かって飛躍していきたい」という願いを込め、その力となる「翼＝つばさ」を象徴しています。

表紙 三重交通株式会社 女性バス運転手



津市男女共同参画室では、夫婦・親子の関係、生き方などのさまざまな問題について、無料相談を実施しています。お気軽にご利用ください。

カウンセラーによる相談（面談・電話相談、1人50分以内）

- ・第1～4火曜日 13時～18時 【女性カウンセラー】
- ・第3火曜日 10時～12時 【男性カウンセラー】

弁護士による法律相談（面談、1人30分以内、対象：女性）

- ・開催日時、申込方法など、詳しくは偶数月1日号の広報津をご覧ください。

詳しくは、津市 市民部 男女共同参画室（☎229-3103）までお問い合わせください。



～劣等生の私が銀行の支店長に～

◆前山 都子さん◆

株式会社百五銀行入行、久居支店のほか、県内4店舗の支店長、人事部副部長兼人材開発課長（研修所長）などを歴任。同行の女性の活躍支援やキャリアアップに貢献。2014年に退職後、人材開発戦略コンサルタント現在のインスピーレマネジメントを開業。



管理職になるきっかけ

私は管理職になろうと思って仕事をしてきたわけではありません。銀行への就職も親の希望でした。入行時の私は「笑わない、しゃべらない、手が遅い」来店されたお客様にお茶を入れることすらできませんでした。また、テラー（窓口業務）に配属されても3カ月で外され、昇格も遅れたほどの劣等生でした。そんな私を育ててくれた銀行に心から感謝しています。

ただ、「女だから、男だから」と言われるのが不思議で、学生の頃は男女平等であったのに社会に出るとなぜこんなに男女差があるのかずっと何とかしたいと考えていました。

そんな中、人事部に配属されたことをきっかけにリーダー制度を活用した女性行員の能力開発策を企画しました。外部講師から「長（トップ）を巻き込むのが全行の意識を転換する一番の早道」とのヒントから、各支店長に支援をお願いし、制度を実施した結果、各店で女性が活躍はじめ、さまざまな成果が現れました。

そんな時に、役員室から「当行の人材育成に必要なものとは何か？」というメールが届き、若かった私は生意気にも「人材育成に戦略が必要です」と返信しました。

以降は、銀行全体の人材育成の体系やプログラム開発、研究所の新設などにかかわり、行員一人ひとりがどこまで成長できるか、常に質の高い成果を作りたいと心がけました。



管理職の苦労

支店長という立場になり、そんなに苦労したことはありません。支店のみんなと一緒に頑張りました。

当時は銀行の女性支店長と珍しがられ、すぐに顔を覚えてもらうことができました。また、相手が女性だと話しやすかったのか、職場のメンバーやお客様にも信頼してもらえたようで相談も多かったですね。

ただ「私達が一回でも失敗したら、後輩は続かない。失敗はできない。成果を上げ続けなければならない」と必死だったように思います。

家族の応援

入行後すぐに結婚し、二人の子どもを出産しました。現在のように育児休暇はなく、産前産後休暇だけでした。子育ては保育園を利用せず、近くに住む両方の親に助けをもらいました。夫は「男子厨房に入らず」という考えで、家事は主に私がやり、子育てと平日の夕食作りはどちらかの母にお願いしました。何度も仕事を辞めようと話をすると義母は「辞めなくていいよ」と優しく接してくれます。当時はその言葉に素直になれず、子どもにかまっていられず寂しい思いをさせているのではないかな等の気持ちの葛藤が常にありました。

自宅から片道2時間の支店通勤の時に義母が病に倒れ、介護が必要になりました。家族が分担し協力してくれましたが、さすがにみんなが疲れ、この時ばかりは仕事を辞めようと思っていた矢先に義母が亡くなり、その一月後に支店長に拝命されました。

この時に辞めていたら支店長になることはなかったと思うと家族が支えてくれたおかげと感謝しました。それまでは帰日も遅く、睡眠時間も十分にとれない私の体を心配して、辞めるべきと言っていた夫の態度も変わり、応援してくれるようになりました。

キャリアアップを目指すには

ずばりビジネス力をつけて欲しいです。その中でも、これからの環境変化に対応できる卓越した他者にはない特異なものを持つこと。

そして、チャンスは受け入れること。初めての仕事や昇進は男性も女性も不安は同じ。でも女性は真面目なので、仕事を任せられた時にできないことを探し出し尻込みしますが、男性は6割できていれば「できる」と言います(笑)

本当にできないことは、周りのメンバーに助けてもらえば良いですね。

また、これからのリーダーには、単に数字や目標だけを追い求めるのではなく、ミッションとビジョンを明確に示し、メンバー全員がそれを共有し、その達成のためにそれぞれが強みを活かし主役となって力を発揮できる「組織開発型リーダーシップ」でチャンスを与え、メンバーを輝かす喜びを感じていただきたいです。私も、海外研修に女性が参加する機会を作ったり、現場で人を育てることが喜びでした。



経験は確実に力になります。会社の慣例などによる男性優位の状況になる時もありますが、負けずにトライしてほしいと思います。

さらに、成果を上げるには、変革も重要です。この頃の環境変化は激しいですね。今までと同じことをやっているのは後退になります。CS（顧客満足度）を重視しつつ、効率よく改善することが必要です。

あと、職場で色々聞ける人を作っておくことです。人脈は大事です！

◆◆◆取材を終えて◆◆◆

前山さんは、自然体で笑顔の優しい素敵なお方でした。休日にご家族と美術館、音楽会へと趣味を楽しまれています。「今の私があるのは私にチャンスを与えてくれた銀行と私を支えてくれた家族・仲間です」とその笑顔が印象的でした。ずっとお話を伺っていたいほど楽しい対談で、今回の取材で沢山のヒントを頂戴しました。

平成29年度 津市男女共同参画フォーラムを開催しました！

平成29年11月25日（土）、白山総合文化センターで平成29年度男女共同参画フォーラム「わあむ津」を開催しました。

風の会によるオープニング（南京玉すだれ）、三重県男女共同参画センターフレンテみえ所長 石垣 弘美さんによる講話、フォーラム実行委員手作りの電子かみしばいの上演、日本テレ

ビ系列の大人気番組『7男2女、一家11人の大家族 石田さんち』の父親、石田 晃さんによる講演が行われ、来場者は熱心に耳を傾けていました。

また、会場では白山高校茶道部による茶会、各団体による展示・取組発表、物産販売も行われ、会場を盛り上げていました。



石田 晃さんによる講演



実行委員による電子かみしばい



展示・取組発表

クロスワード

ヒント

男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のこと

1		2		3	4
		5			
6				7	
		8	9		
	10		11		
12					

A～Dに文字を並べて応募！！

正解者の中から抽選で5名様に粗品をプレゼント！！

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテ

- 平成 28 年 5 月に開催された先進国首脳会談「伊勢志摩〇〇〇〇」
- 理系の女子学生や女性研究者、理系の進路を目指す女子中高生など〇〇〇〇
- セクシュアル・〇〇〇〇〇〇＝性的嫌がらせ
- 芸濃町にある国登録有形文化財「旧明村役場庁舎」は、曳家という珍しい工法で〇〇〇された
- ことわざです。覆水〇〇に返らず

ヨコ

- 昨年 10 月、津市に開業した屋内総合スポーツ施設「〇〇〇ーナ」
- 沖縄の県庁所在地は、〇〇市
- 数の単位。兆の 1 万倍。〇〇
- 津市の木はケヤキ、津市の鳥はウグイス。では津市の花は〇〇〇
- 〇〇ボート、〇〇タ、〇〇ワード、共通して入る文字は
- 日没後、西の空に明るく輝く金星。〇〇の明星
- 〇〇〇ライス、〇〇〇南蛮、〇〇〇カレー、共通して入る言葉は
- 昨年の流行語大賞。他人の心をおしはかること。〇〇〇〇

【応募方法】ハガキまたはEメールで、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、4 文字の答え、本紙の感想を下記編集・発行元へ

【締め切り】4 月 27 日（金）必着

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます



津市ヘルスマイトおすすめレシピ

風邪やインフルエンザなどの感染症の予防には、手洗い・うがいのほか、適度な運動、十分な休養、バランスの良い食事が大切です。今回は、感染症の予防にぴったりのレシピをご紹介します！！

☆ にんじんしりしり

にんじんに含まれるβカロテンは体内でビタミンAとなり、鼻や喉の粘膜を正常に保つ働きがあり、油と一緒に摂ることで吸収率もUP！！



【作り方】

- ①にんじんは千切りにする
- ②フライパンに油を入れ、①を中火でしんなりするまで炒める
- ③ボウルにAを混ぜ合わせ、②へ溶いた卵と流し入れ、よく混ぜながら卵に火を入れる

◇材料（2人分）◇

- ・にんじん 80 グラム
- ・オリーブ油 小さじ 1/2
- ・卵 1 個

A：ツナ水煮缶（40 グラム）
塩 0.5 グラム



編集後記

今回は男性優位のイメージがあった銀行という舞台で、女性支店長として活躍された前山さん取材させていただきました。当時、大変な境遇にもかかわらず、家族・仲間と一緒に乗り越えていったお話が印象的で爽快でした。中でも、キャリアアップするための具体的なアドバイスは必見です！男性女性と分けるのではなく共に尊重できる社会であって欲しいと願います。（山本）

ご意見、ご感想をお寄せください♪

よりよい紙面づくりのために、ご意見、ご感想をお待ちしています。
①住所②氏名③年齢④性別⑤電話番号⑥本紙の感想を記入し、下記までお送りください。

ハガキの場合 〒514-8611 津市男女共同参画室（住所不要）

Eメールの場合 229-3103@city.tsu.lg.jp

【締切】4月27日（金）必着

※お寄せいただいた感想等については、本紙に掲載させていただくことがあります。

情報誌 つばさは
津市ホームページでも
ご覧いただけます！



編集・発行／津市市民部男女共同参画室

〒514-8611 津市西丸之内 23 番 1 号 TEL：229-3103 FAX：229-3366 Eメール：229-3103@city.tsu.lg.jp

編集／津市男女共同参画情報紙『つばさ』編集スタッフ：荒川 恵巳・臼井 一吉・小林 小代子・谷口 みゆき・山本 えいこ